



平成9年度 見事な眺望を満喫

▲平日中エホテルに800人参加

平成9年度の鳥城会総会・懇親会は、去る11月30日の日曜日午後1時から赤坂の東京全日空ホテルに総勢80人を集めて盛大に開かれた。降り続いてきた雨も明け方にはあがって暖かな日差しがこぼれ、晴れやかな一日となった。

総会は、渡辺誠毅会長の挨拶に始まり、渡辺会長は「鳥城会を拡大・活性化するため、西高会員を中心とした若い力に期待したい」と訴えた。続いて来賓として出席された鳥取西高・山田重校長から「祝辞と母校の近況の報告を頂いた。

終わりは恒例により鳥取一、童謡「ふるさと」を歌ってお開きとなった。おみやげには、西高から



と訴えた。続いて来賓として出席された鳥取西高・山田重校長から「祝辞と母校の近況の報告を頂いた。懇親会では、平成8年度決算報告と平成9年度予算案が審議され、原案通り満場の拍手で承認された。また各担当副会長から活動の概要が報告された。

この回は的中後半にしばって筆を進めたい。まず、大塚洋一郎氏(55期・元建設省都市局長)は花の万博 事務総長としてよく知られ、いまでも民間都市開発推進機構理事長として活躍されている。同じ55期の谷尾侃氏(元日野自動車販売調査役)は囲碁3段。兄・谷尾栄氏(50期・8段)とともに、囲碁兄弟と呼ばれている。栄氏は、毎年、日本棋院で行われている鳥城会囲碁大会の進みの親でもある方だ。森本勇氏(55期・元日本国士開発幹部)は東京県人会や東因会の幹事も勤めて幅広く活動されている。

鳥城会副会長・岩田照良氏(56期・元中委事務局次長、ILO東京支局長)は経理担当として目を光らせておられる。スポーツ界に目を転ずると、大先輩の故・小島多慶男氏(40期・元パ・リーグ審判技術部長)に加えて、山根俊英氏(57期・元毎日オリオンズ投手)を忘れることはできない。今も野球評論家として活躍されているほか、台湾プロ野球の発展にも貢献された。産業界の大物には山中卓氏(57期)がおられ、横河電機社長から、今は同社社長を勤めておられる。

兄弟ということでは、相次いで旧制一高から東大に進み、地元でも評判だった中野三兄弟がいる。啓二郎氏(57期・日本ボーリング協会会長)、英三郎氏(58期・元理研電線社長)、純氏(61期・元朝日新聞取締役)だ。啓二郎氏は世界協会会長も勤め、ボーリングのオリピック種目への採用に骨を折る、純氏は鳥城会副会長・広報担当をやっていた。三人の弟・中野剛

新記録立てて閉幕

「翔け、交流新時代へ」口との比較は実に3.14倍で、ジャパンエキスポ史上最高を記録しました。成功の原因には①中国横断道の開通で四国までの高速道路網が整備されたこと②古代出雲文化展、倉敷チボリ公園の開園、NHK大河ドラマ「毛利元就」など

最終の入場者数は当初の目標の2倍近い約193万人となった。この種の博覧会の成功度を判定する県人

寄贈された「創立百周年記念レコード」(LP盤)が希望者に配られた。校歌、応援歌の他に甲子園大会の野球実況中継も入っていて好評で、多くの方々が持ち帰られた。

なお、来年度の総会当番幹事は西高13期となり、その中で、よろしくお願いたします。

鳥城会紳士録

多士 濟々の
西高5回 林田 達郎記

その②
林義人氏(元浦田エス・ピー・コマース常務)は総務関係幹事として鳥城会発定期の基盤固めに苦勞されたこと聞いている。
63期西高2期には、中尾礼二氏(二子モウ会長)、富山伸夫氏(吳羽情報システム常務)がおられる。

どの相乗効果があったこと
③会場の境港・竹内工業団地が大山や弓ヶ浜半島を一望できる環境にあったこと
④夜間も含め8百ものイベントが準備されたことなどが挙げられますが、それ以上に県内外の関係者の皆様のご支援の賜り物と感謝しています。
(鳥取県東京事務所)

県人会新会長に
杉村村氏就任
東京近在に住む鳥取県出身者・縁故者で組織する東京鳥取県人会の新会長に鳥城会副会長・杉村公美氏(一中50期)が、副会長に同・山根眞樹生氏(一中54期)が9月に開かれた総会で選出された。

平成9年度及総会△云山出席者 (敬称略)

◎来賓 山田董西高校長、蔵多敏夫教諭
 ◎特別参加 鳥取高女同窓会・翠紅会 藤本正子、河原和代、稲垣勢津子
 ◎会員 (鳥取一中)

▽41期・佐々木定道 ▽42期・河原卯太郎 ▽43期・伊藤光治、三神正雄
 ▽44期・富山恭市、渡辺誠毅、大村文夫 ▽45期・北野琢夫、岡村繁
 ▽49期・山川国雄 ▽50期・杉村公美、谷尾栄 ▽54期・山根真樹生
 ▽55期・谷尾侃、森本勇 ▽56期・藤原謙二 ▽57期・山根俊英
 ▽59期・谷尾孝史 ▽60期・前野良吾 ▽61期・浅田隆造、中野純、山根正男、横山豊、米村恒義

(鳥取西高)
 ▽1期Ⅱ一 中62期・西村和義、橋本邦雄 ▽2期Ⅱ一 中63期・山根稔
 ▽3期Ⅱ一 中64期・三田耕治、鬼泰照 ▽4期・宮田巨▽5期・上山哲郎、田中丈雄、中田和夫、林田達郎、三浦三郎 ▽6期・梅津孝史
 ▽7期・小林悦子、岸本弘志 ▽9期・川野美和子、和田美知枝、守屋正教、田中脩夫、清水紀代志 ▽10期・岡崎正義、岡田忠雄、川上寿一
 武田紘一 ▽11期・植田潔治、安治稜夫、谷口洋子、寺谷敏克、安木米吉
 ▽12期・稲葉谷暉樹、北村徹、村田洋司、岡村尚昭、塩谷陽則、岡田武人、岡村親宣、中澤正晴、前川進、星合行雄、元村紀世子、館野淑恵、田村恵子、中谷俊博、山中義彦、飯島衣子、石坂淑次郎、平野昭雄
 米濱昭英 ▽14期・米濱宜子 ▽16期・伊藤嘉之 ▽20期・細田泰造
 ▽25期・大西重任

△云 員 の 近 況 報 告 出 口

欠席通知のお便りからの抜粋。敬称略。

(鳥取一中) 鳥取政雄 (42期) 共著「戦後日中関係50年」を97年9月29日出版。

山下 武 (45期) 毎日3〜5kmを歩き健康に留意。

鳥城会の会員増強に期待。
 石谷類造 (46期) 現在81歳。体調は普通。趣味の生活を楽しんでいる。

熊田辰夫 (47期) 81歳9カ月。なんとか元気ですが右足の古傷が痛んでいます。生活には支障なし。

浜部基次 (49期) 遠出が無理で、周辺の散歩程度。
 山中 孔 (54期) 有志と都市住居を研究している。

岡野恒也 (56期) 愛知県豊田市の大学へ単身赴任3

△ 員 福 福 を 祈 願

(事務局へ)通知があった方々を掲載

(鳥取一中)
 28期 荻原 善彦様
 平成9年5月18日逝去
 36期 尾崎 祐治様
 平成9年3月25日逝去
 40期 柳部 正治様
 平成9年9月16日逝去
 42期 太中 茂様
 平成9年5月逝去
 54期 阿曾 弘一様
 平成9年9月17日逝去
 56期 田中 昭夫様
 平成9年9月26日逝去
 (鳥取西高)
 4期 近藤 寛様
 平成9年6月24日逝去
 5期 上田 隆昭様
 平成9年6月逝去

年目となりました。

鈴木 昭 (56期) 去る7、8月、入院加療し、現在自宅でリハビリ中。漸く元氣を取り戻しつつあり。

小谷秋夫 (57期) 時に山歩きを楽しむ。

倉信隆弘 (58期) 健康維持する程度の業務で、月々金、一日5時間程働いています。

田辺正義 (61期) 他人に迷惑かけないで永生きするごと。

岩田 陽 (61期) 青年海外協力量に週3日勤務、大々学講義週一回。一病息災の健康。

(鳥取西高) 岸田汎正 (1期Ⅱ一 中62期) ヨーロッパを中心に春と秋の2回、歴史、音楽、美術を楽しんでいます。

増賀光一 (2期Ⅱ一 中63期) 晩成書房から「若者たちの居場所」を出版。

向井 實 (2期Ⅱ一 中63期) 鳥取に帰り、「村岡

を改め、「向井」となりました。〒682 倉吉市上井492121 ☎0858・26・3157

福谷 実 (2期Ⅱ一 中63期) (財)日本チャリティ協会でお手伝いをしています。

牧野和春 (3期Ⅱ一 中64期) 先輩のプロフィールを紹介する企画を楽しみにしています。

井上温子 (4期) 姉健友館より、神辺恵子のペンネームで時代小説「秘伝系譜」を出版。宜しく。日本海新聞にも広告が載りました。

渡瀬靖夫 (4期) 一中、西高出身者による講習会をお願ひします。

岡田 栄 (5期) 9月に焼肉レストランを開業しました。☎045・841・1899

篠田英男 (9期) 年齢の壁を越えた相互交流を楽しんでいるが、一番。

船木弘巳 (10期) 少年剣道教室と家庭菜園で楽しんでます。

米沢武男 (10期) 母校のスポーツ界での奮起、活躍を望む。野球も今一です。

神谷昭光 (11期) 第53回国民体育大会(神奈川ゆめ国体)準備のため研修会に出席。

尾崎みちる (11期) 転居しました。〒701-141 岡山県倉敷市船岡325181

山田歌子 (11期) 引っ越しました。〒198-100 43 青梅市千ヶ瀬町21186119

△ 会 費 納 入 に つ き 協 力 を

―― 決算・予算の報告とお願い ――

総会で可決、承認された平成8年度決算報告および9年度予算の概要は下記の通りです。

ご覧のように、鳥城会の経理は小規模ながら堅実に推移していますが、活動を活発化するためには、まだまだ資金不足です。節約のため、ボランティアによる

ワープロ編集の版下を簡易にお許し下さい。(事務局)

平成8年度決算報告 (概要)

収入の部	支出の部	
年会費 777,500	総会費 750,000	
総会費 697,500	総会補助費 156,898	
受取利息 6,855	通信費 120,690	
寄附金 24,000	慶弔費 35,904	
	事務用品費 84,700	
収入計 1,505,855	役員会等費用 92,793	
前期より繰越金 2,312,957	レジャー補助費 200,000	
	会報発行費 58,860	
合計 3,818,812	事務局費用 40,140	
	諸手数料等雑費 15,455	
	予備費 180,900	
	支出計 1,736,340	
※他に鳥城会資産として富士通ワープロ1台 (61,800)	次期への繰越金 2,082,472	
	合計 3,818,812	

平成9年度予算 (概要)

収入の部	支出の部	
年会費 950,000	総会費 750,000	
総会費 750,000	総会場費 200,000	
利息 4,500	通信費 200,000	
寄附金 0	慶弔費 100,000	
	事務用品費 150,000	
収入計 1,704,500	役員会等費用 200,000	
前期より繰越金 2,082,472	レジャー補助費 200,000	
	会報発行費 100,000	
合計 3,786,972	事務局費用 50,000	
	諸手数料等雑費 30,000	
	予備費 200,000	
	支出計 2,180,000	
	次期への繰越金 1,606,972	
	合計 3,786,972	

秋香子園其十八八八

香月・福田両君が優勝

平成9年秋季囲碁大会は10月5日、日本棋院「榎町」で開催されまし

2段以下のB組では福田善一初段(西高5回・次回

は2段昇格)が優勝、準優勝は鬼泰照初段(中3・西高2期)でした。

の幹事には慣例により優勝者の香月さんが当たられま

講演で締めくくった。次いで、祝宴は三田耕治君(関東)の音頭による乾

リン横浜ビアレレッジで開かれた。出席者35名のうち20名強

庭も公園のように整備されていた。寛ぎの場としてお薦めしたい。(大和谷泉記)

福田典喜君が郷里で画家で「週刊新潮」のアートディレクターも勤める

盛大な大会となりました。中野純副会長の挨拶、参加者全員の自己紹介のあと

引き続き、卒業年次別の同窓会の動きを紹介します。

が、今年は卒業45周年の節目として、9月28日、大阪・リーガロイヤルホテル

が、今年に卒業45周年の節目として、9月28日、大阪・リーガロイヤルホテル

昭和34年卒業の西高10期はあるものの爽やかな初秋の9月27日、生麦の「キ

願和園での晩餐会、17日も午餐会に加えて国家科学技術委員会との晩餐会と、まさしく友として中国の伝統

に世界一の高層ビルが建設中である。中国一の経済都市・上海は古き時代の匂いと新しい活力とが、渾然一体となつて不思議な魅力を放っていた。

に、今後はメジャーな展覧会にも挑戦したい」と意欲を燃やしている。

ふるさと「とっとりや」

アンテナショップとして、このほどJR渋谷駅南口前

北京、上海の朝夕の銀輪による通勤ラッシュ、北辺の山並みに果てしなく続く

「健康」をテーマとした小

「有朋自遠方来 不亦楽乎」

地区に、ヨーロッパ的異国情緒を色濃く残している。

「因幡風景油絵展」が10月26日から10日間、鳥取県若美郡国府町の「因幡万葉歴史館」で開かれた。

町誕生40周年記念行事の一つとして企画され、国府町出身の福田君が選ばれたもので、会場には同君が仕事の間際に故郷をレタカ

ふるさと「とっとりや」

このほどJR渋谷駅南口前

200名近い盛況であった。恩師も招待し、5先生が元氣に出席された。松田博

「健康」をテーマとした小

「有朋自遠方来 不亦楽乎」

地区に、ヨーロッパ的異国情緒を色濃く残している。

「因幡風景油絵展」が10月26日から10日間、鳥取県若美郡国府町の「因幡万葉歴史館」で開かれた。

町誕生40周年記念行事の一つとして企画され、国府町出身の福田君が選ばれたもので、会場には同君が仕事の間際に故郷をレタカ

ふるさと「とっとりや」

このほどJR渋谷駅南口前

200名近い盛況であった。恩師も招待し、5先生が元氣に出席された。松田博

「健康」をテーマとした小

「有朋自遠方来 不亦楽乎」

地区に、ヨーロッパ的異国情緒を色濃く残している。

「因幡風景油絵展」が10月26日から10日間、鳥取県若美郡国府町の「因幡万葉歴史館」で開かれた。

町誕生40周年記念行事の一つとして企画され、国府町出身の福田君が選ばれたもので、会場には同君が仕事の間際に故郷をレタカ

ふるさと「とっとりや」

このほどJR渋谷駅南口前

200名近い盛況であった。恩師も招待し、5先生が元氣に出席された。松田博

「健康」をテーマとした小

「有朋自遠方来 不亦楽乎」

地区に、ヨーロッパ的異国情緒を色濃く残している。

「因幡風景油絵展」が10月26日から10日間、鳥取県若美郡国府町の「因幡万葉歴史館」で開かれた。

町誕生40周年記念行事の一つとして企画され、国府町出身の福田君が選ばれたもので、会場には同君が仕事の間際に故郷をレタカ

ふるさと「とっとりや」

このほどJR渋谷駅南口前

200名近い盛況であった。恩師も招待し、5先生が元氣に出席された。松田博

「健康」をテーマとした小

「有朋自遠方来 不亦楽乎」

地区に、ヨーロッパ的異国情緒を色濃く残している。

「因幡風景油絵展」が10月26日から10日間、鳥取県若美郡国府町の「因幡万葉歴史館」で開かれた。

町誕生40周年記念行事の一つとして企画され、国府町出身の福田君が選ばれたもので、会場には同君が仕事の間際に故郷をレタカ



ふるさと「とっとりや」

このほどJR渋谷駅南口前

200名近い盛況であった。恩師も招待し、5先生が元氣に出席された。松田博

「健康」をテーマとした小

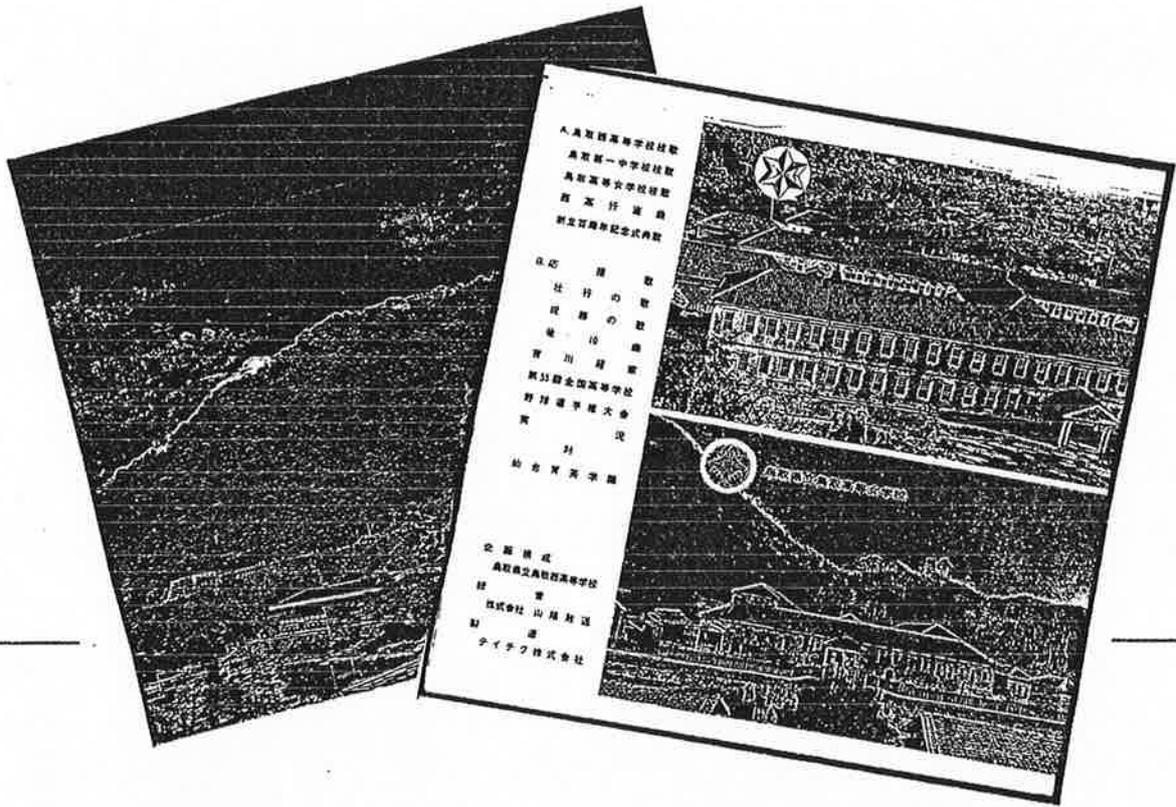
「有朋自遠方来 不亦楽乎」

地区に、ヨーロッパ的異国情緒を色濃く残している。

「因幡風景油絵展」が10月26日から10日間、鳥取県若美郡国府町の「因幡万葉歴史館」で開かれた。

※投稿を期待しています※

- 発行所 鳥城会事務局 03・3564・0171
発行責任者 中野 純(会報担当)
編集委員会 川口 義男(中58期)
横山 豊(中61期)
林田 達郎(西高5期)
三浦 三郎(前事務局長)
清水 紀代志(事務局長)
三角 幸子(西高15期)



「鳥取西高等学校創立百周年記念」 LP 盤レコードを差し上げます！

□このレコードは20数年前、鳥取西高創立百周年を記念して製作されたものです。このたび鳥城会総会出席者へのお土産として学校側から提供されました。LP盤を再生する機器が少なくなっていますが、記念品として好評でした。

□収録されている内容は

- 〔A面〕
- ・鳥取西高等学校校歌
 - ・鳥取第一中学校校歌
 - ・鳥取高等女学校校歌
 - ・西高行進曲
 - ・創立百周年記念式典歌

- 〔B面〕
- ・応援歌
 - ・壮行の歌
 - ・祝勝の歌
 - ・その他10曲
 - ・吉川経家
 - ・第55回全国高校野球選手権大会
対・仙台育英学園戦の実況

□企画構成・鳥取西高等学校 □録音・(株)山陰放送 □製造・テイチク株式会社

□残部が多少(約60枚)ありますので、希望者には先着順で無料で差し上げます。

□希望者は鳥城会事務局へ電話で予約し、事務局へ出向いて受け取って下さい。

□郵送はできませんので、ご了承ください。

鳥城会事務局

東京都中央区銀座1丁目8番21号

第21中央ビル3階・清水総合法律事務所内

☎ 03-3564-0171